

## 新型コロナウイルス感染症の拡大による 水道事業経営への影響について ⑭

令和3年4月検針分（主に2・3月使用分）

### 用途別の影響

令和3年4月分の検針データを前年（コロナ後）及び前々年（コロナ前）と比較すると、下表のとおりとなります。

主に家庭用となる20mm以下の口径は、前年度との比較では、水量は約8,000m<sup>3</sup>、0.6%の増、料金は約37万円、0.3%の増となりました。また前々年度との比較では、水量は約57,000m<sup>3</sup>、4.5%の増、料金は約510万円、4.2%の増となりました。

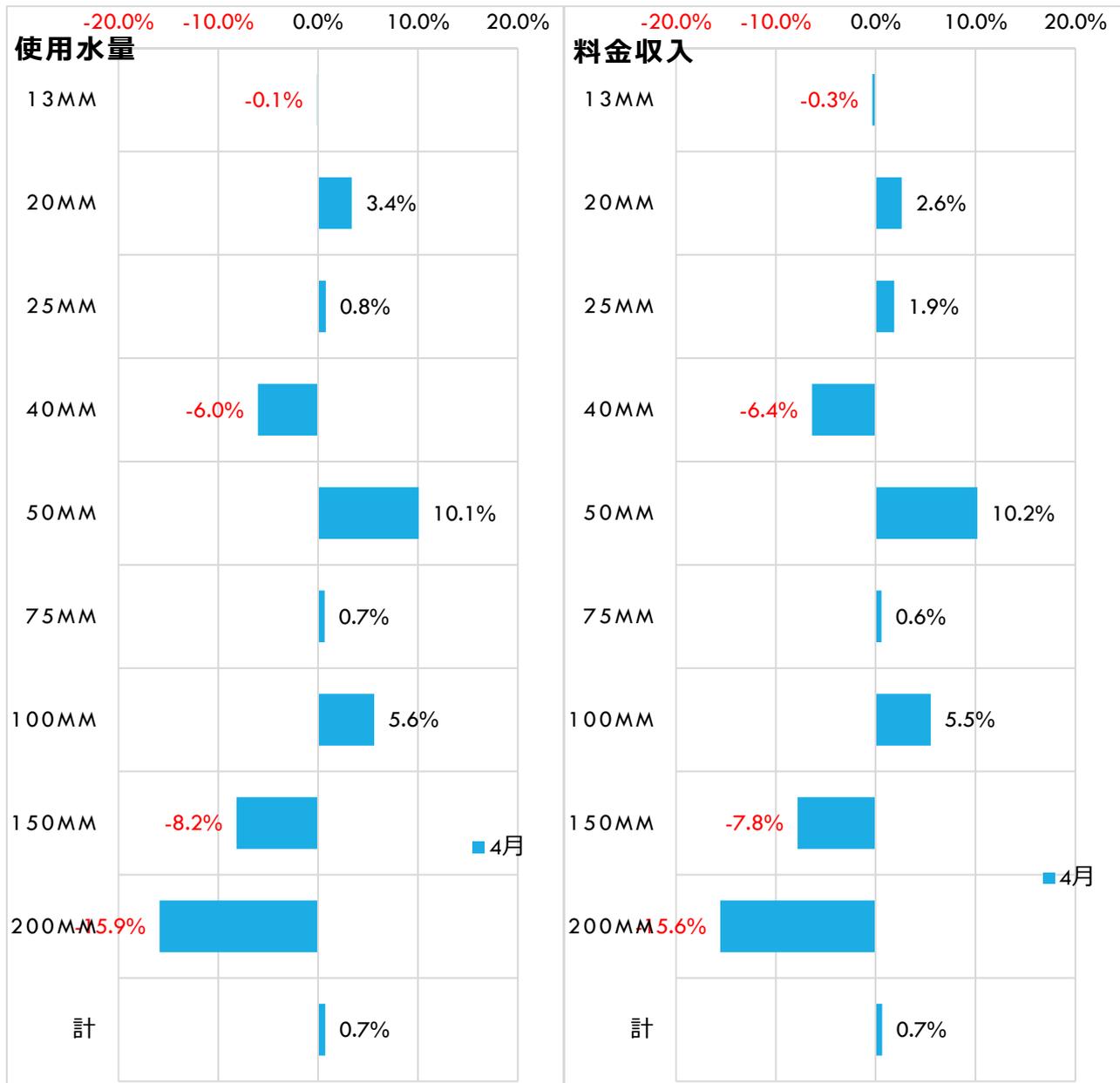
主に業務用となる25mm以上の口径は、前年度との比較では、水量は約3,000m<sup>3</sup>、1.2%の増、料金は約88万円、1.4%の増となりました。また前々年度との比較では、水量は約20,000m<sup>3</sup>、6.6%の減、料金は約470万円、6.9%の減となりました。

検針年	区分	4月検針分（2・3月使用分）		
		20mm以下	25mm以上	合計
R1 (H31)	水量 (m <sup>3</sup> )	1,280,315	300,383	1,580,698
	金額(税抜き:円)	123,548,890	68,079,595	191,628,485
	供給単価(円)	96.50	226.64	121.23
R2	水量 (m <sup>3</sup> )	1,329,407	277,242	1,606,649
	金額(税抜き:円)	128,317,930	62,542,015	190,859,945
	供給単価(円)	96.52	225.59	118.79
R3	水量 (m <sup>3</sup> )	1,337,697	280,564	1,618,261
	金額(税抜き:円)	128,686,500	63,418,620	192,105,120
	供給単価(円)	96.20	226.04	118.71
対R2 増減  (コロナ後との比較)	水量 (m <sup>3</sup> )	8,290	3,322	11,612
	増減率	0.62%	1.20%	0.72%
	金額(税抜き:円)	368,570	876,605	1,245,175
	増減率	0.29%	1.40%	0.65%
	供給単価(円)	△0.32	0.45	△0.08
対R1 増減  (コロナ前との比較)	水量 (m <sup>3</sup> )	57,382	△19,819	37,563
	増減率	4.48%	△6.60%	2.38%
	金額(税抜き:円)	5,137,610	△4,660,975	476,635
	増減率	4.16%	△6.85%	0.25%
	供給単価(円)	△0.30	△0.60	△2.52
	増減率	△0.31%	△0.27%	△2.08%

### 口径別の対前年変動率

口径別の対前年変動率を見ると、次のグラフに表すとおりとなります。

使用水量、料金ともに、13、40、150、200 mmの口径では減、20、25、50、75、100 mmの口径では増となりました。



考察

コロナ後に表れた家庭での水道需要の増、業務用での需要減の傾向が続いています。家庭用は、コロナ後の前年度をさらに上回り、業務用も上回るものの、コロナ前との比較では、大きく減少しています。

特に業務用では、前年度との比較では、口径により明暗が分かれる結果となっています。料金収入の20%程度を占める50~100 mmで増加したことは、水道事業の安定的な経営につながるものですが、コロナ前の状況には戻りきっておらず、引き続き25 mm以上の口径の利用動向には注意を払う必要があります。